

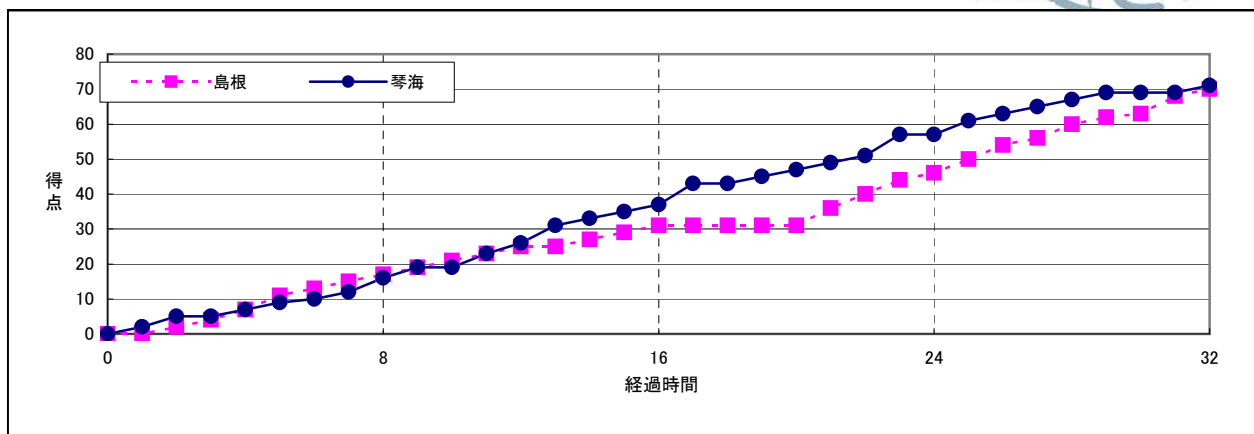
【game report】

No. 1 - SH - 2

平成20年度全国中学校体育大会
第38回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 男子 SHコート第2試合 予選リーグH																	
日時	8月23日(土)		10:50 ~															
会場	新発田市カルチャーセンター																	
結果	島根 ●	70 { <table border="0"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>24</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table> }	17	1st	16	14	2nd	21	15	3rd	20	24	4th	14		OT		琴海 ○
17	1st	16																
14	2nd	21																
15	3rd	20																
24	4th	14																
	OT																	
審判	主審 横田 光男	副審 長部 賢																



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	金村 謙	×	1	0	0	1	2
5	小谷 優太	×	14	0	6	2	4
6	小川 健太	×	40	0	20	0	1
7	石川 凌耶	×	11	1	4	0	0
8	湯畑 智規						
9	角田 惣一郎	/	0	0	0	0	0
10	奥村 直樹						
11	横原 大智						
12	高井 健太郎						
13	村上 雄基						
14	角田 泰地	×	2	0	1	0	3
15	石橋 裕太郎						
16	大野 祐	/	0	0	0	0	3
17	小谷 航洋	/	2	0	1	0	1
18	石川 智大						
監	高橋 千治						
C	中田 充繁						
合計			70	1	32	3	14

No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	大場 修太郎	×	10	0	5	0	2
5	浦上 拓真	×	23	1	9	2	3
6	山口 拓哉	×	12	1	4	1	2
7	前田 龍星	×	3	0	1	1	0
8	林田 太一	×	13	0	6	1	1
9	石山 唯我	/	10	2	2	0	0
10	西豊 恭平						
11	渡辺 顕						
12	田中 慎太郎						
13	久松 知哉						
14	川尻 将仁						
15	吉井 明						
16	大谷 純太						
17	山口 清						
18	久松 脩人						
監	宮川 剛						
C	渡辺 力						
合計			71	4	27	5	8

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

中国ブロック代表島根と九州ブロック代表琴海の対戦。Defは両チームともハーフマンツーマンでスタート。1Q、島根は#6のドライブを中心に得点すれば、琴海は#5、#4を中心とした攻撃で得点し、序盤は一進一退の攻防が続く。2Q、後半4分くらいまで僅差であったが、琴海の#8のカットイン、#6、#9の3Pなど多彩な攻撃に対して、島根のファールがかさみ、#6の速攻が何度か決まるも、島根31-37琴海で前半終了。3Qの立ち上がり、バランスのいいOffで琴海がペースをつかみ、じわじわと得点差を広げていく。16点ビハインドとなった島根は、タイムアウト後、Defが激しさを増し、必死に食い下がる。島根 46-57琴海で3Q終了。流れを変えたい島根は、前半のファウルトラブルで途中出場していなかった#5を4Qのスタートから投入。#5の力強いリバウンドで活気付いた島根は、じわじわと点差をつめていく。琴海はタイムアウトで流れを変えようとするが、島根の勢いは止まらず、残り46秒で70-69とついに逆転。すかさずタイムアウトをとった琴海は、その後、#5のゴールで再び逆転し、1点のリードを守りきり勝利を収めた。最後の最後まで行方のわからないゲームとなったが、両チームとも粘り強く必死にボールを追いかける姿が印象的な好ゲームであった。